

市民環境大学OB会 ニュースレター



第21号 2018年7月19日 発行 豊田湧水路の貴重種“みくり”の花

定例OB会 豊田湧水・用水見学会開催！



見学会出発前の記念撮影

日野市民環境大学OB会の拠点日野市豊田は豊富な湧水地点が多く分布し、また浅川から取り込まれた用水が流れる大変貴重な地域です。日野市でもこの環境を保護しようと町のキャッチフレーズは“緑と清流のまち”となっています。

OB会でもきれいな水を守っていこうという考えは基本的なコンセプトになっており、毎年開催される“身近な水環境の全国一斉調査”に参加するとともに、地元日野市の湧水の保護のため、継続して湧水量調査を行っています。しかし湧水地点全体の把握をしていないことから、今回定例のOB会の中で見学会を行うことになり、5月17日に実施されました。今号ではその時の報告を中心に編集しました。

豊田湧水・用水見学会報告

OB会 尾添 俊二

見学会は5月17日(木)午後から行われました。参加者は飯島会長をはじめ女性2名を含む11名で、コースはカワセミハウスをスタートし、湧水や用水を見学しながら浅川にかかる平山橋をゴールとする約2時間でした。今回のコース案内役は豊田用水・湧水を長年調査され、詳細なマップなども作成されているOB会の田中徹さんが引き受けてくださいました。

出発前に田中さんから“黒川清流公園&豊田テクテクmap”を使って概略のコース説明があったのちスタートとなりました。なお次ページのテクテクmapに今回の見学ポイントと写真を掲載しました。

スタート(カワセミハウス)→三島社跡と湧水→ミクリ観察→おしゃもじさま→寺坂の地蔵
→黒板塀の家と用水→Aさん宅湧水・井戸見学→庚申塚→矢崎橋やすらぎ処工事現場
→中央図書館下湧水→Bさん宅裏庭の井戸見学→浅川豊田用水取水口→平山橋(ゴール)

最初のポイント三島社跡は、今は社はありませんが静岡県三島市の三島神社の分社とのことで、雑草の中に湧水の流れを確認しました。さらに行くと住宅街の湧水では東京都の準絶滅危惧種である“ミクリ”に出会いました。ちょうど花が開花したところでこの貴重種は日野市の財産となっています。更に住宅街を抜け浅川からの用水沿いに出ると“寺坂の地蔵”や“黒板塀の旧家”がありました。

その後Aさん宅を訪問し、ご厚意で敷地裏の湧水を見学させて頂き、湧水を今でも生活の重要な要素として使われている事実に感銘を覚えました。このAさん宅の湧水地点は次の見学ポイントである日野市最大規模の図書館下湧水につながる斜面となっています。矢崎橋やすらぎ処という公園工事の標識を見て、このあたりが第2黒川清流公園になればいいのという想像をふくらましました。

更にバイパス道路を抜けて水辺のある風景日野50選の一つBさん宅を訪問し、ここでもご厚意で裏庭の湧水の出る井戸を見学させてもらい、その後ゴールの平山橋に到着しました。

今回の見学会では豊田湧水・用水のすべては見学できませんでしたが、田中さんの案内のお陰で重要なポイントをこの目で確認でき、大変貴重な経験になりました。



三島社前で説明される田中さん



湧水路のミクリを見る参加者

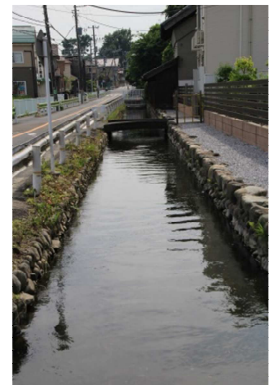
豊田用水・湧水見学コース

資料提供： OB会 田中徹さん

ようこそ日野市へ緑と清流のまち黒川清流公園&豊田テクテク map 湧水と用水のまちようこそ豊田へ



三島社の湧水



流量豊富な豊田用水



豊田用水沿い黒板塀の旧家



Bさん敷地内
北側井戸からの湧水



豊田最大の
中央図書館下湧水群



Aさん敷地内で
湧水の説明を聞く。

OB会メンバー 活動イベントニュース

- 全国一斉水質調査(6月3日)、窒素酸化物測定調査 (5月31日~6月1日)に例年通り参加。
- 日野市真堂が谷戸でのホテル観察会、黒川マイスター制度発足会がそれぞれ開催された。
- 市民環境大学の公開講座 黒川清流公園の植物観察会が6月5日に開催された。
- OB会フィールドワーク案内 8月16日(木)(AM10:00~)のOB会では“国分寺真姿の池見学会”を予定。

OB会 輪読報告 題名 森林飽和 著者 太田猛彦
5、6月 フィールドワーク開催等により中止

発行人： 市民環境大学OB会 飯島利三 編集担当：OB会 尾添俊二